

第46回広瀬川創生プラン策定推進協議会 議事録

- 日 時:令和6年5月22日(水曜日) 14:00~16:00
- 場 所:仙台市役所本庁舎8階 第1委員会室
- 出席委員:小祝 慶紀 会長、小田 隆史 会長代理
一井 利光 委員、岩崎 雄一郎 委員、西城 あや 委員(オンライン参加)、
佐々木 方明 委員、笹村 欣司 委員、佐藤 奈緒子 委員、
多田 千佳 委員、田名部 一朗 委員、豊嶋 純一 委員、
中嶋 紀世生 委員、谷田貝 泰子 委員、山本 琴枝 委員
- 欠席委員:大場 秀行 委員
- 事務局:建設局百年の杜推進部百年の杜推進課
- 内 容:
<次 第>
 1. 開 会
 2. 挨拶
 3. 会長選出
 4. 議 事
 - (1) 広瀬川創生プランの改定について
 - (2) 令和6年度重点事業の認定及び取組事業について
 - (3) 広瀬川魅力創生サポーターについて
 5. その他
 6. 閉 会
- 要 旨:
 - 広瀬川創生プランの改定検討のためワーキンググループを設置すること、また、ワーキンググループのメンバーとして、委員の中から小祝会長、小田会長代理、佐藤委員、豊嶋委員、中嶋委員の5名の選出が決定した。
 - 令和6年度重点事業の認定及び取組事業の報告について了承された。
 - 広瀬川魅力創生サポーターの報告について了承された。

■ 議事詳細：

1. 開会

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

ただ今より、「第46回広瀬川創生プラン策定推進協議会」を開会する。本日、司会を務める百年の杜推進課長の水嶋である。

=配布資料の確認=

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

続いて、本協議会は令和6年4月に委員の改選を行ってから初めての開催となるため、改めて委員を紹介する。

- 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 流域治水課長
一井 利光 委員
第10期より新たに委員を委嘱している。
- 東北電力株式会社 宮城支店 広報担当部長
岩崎 雄一郎 委員
- 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 副委員長
大場 秀行 委員
本日は所用により欠席との連絡をいただいている。
- 東京大学大学院 総合文化研究科 准教授
日本河川教育学会 理事
小田 隆史 委員
- 東北工業大学 ライフデザイン学部 学部長
小祝 慶紀 委員
- 一般社団法人 個育てコーチング協会. 代表理事
西城 あや 委員
第10期より新たに委員を委嘱している。本日はオンラインでの参加となる。
- 仙台市片平市民センター・片平児童館 館長
佐々木 方明 委員
- ニッカウキスキー株式会社 仙台工場 理事工場長
笹村 欣司 委員
- なおコンサルティング 代表
佐藤 奈緒子 委員
- 東北大学大学院 農学研究科 准教授
多田 千佳 委員
- 宮城県仙台土木事務所 河川部河川砂防第一班 技術主幹（班長）
田名部 一朗 委員

- 特定非営利活動法人都市デザインワークス せんだいセントラルパーク 縁長
豊嶋 純一 委員
- 宮城大学 研究推進・地域未来共創センター コーディネーター
中嶋 紀世生 委員
第10期より新たに委員を委嘱している。
- 特定非営利活動法人水・環境ネット東北 事務局長
谷田貝 泰子 委員
- 仙台商工会議所 女性会 常任委員
山本 琴枝 委員
第10期より新たに委員を委嘱している。

続いて、仙台市の出席者についてご紹介させていただく。

=仙台市出席者の紹介=

なお、本協議会の事務局は、建設局百年の杜推進部百年の杜推進課が務めさせていただく。

2. 挨拶

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

引き続き、建設局長の佐藤より挨拶申し上げます。

○佐藤建設局長

本日は、お忙しい中、第46回広瀬川創生プラン策定推進協議会にご出席いただき感謝する。この度の協議会は、令和6年4月に委員の改選を行ってから初めての開催となるが、快く委員をお引き受けいただき、深く感謝申し上げます。

広瀬川創生プランは、策定から来年3月でちょうど20年目を迎えることとなり、これまで多くの市民の皆様、市民活動団体、企業・NPO、行政等が一体となって、このプランの理念に基づき取り組んできたが、広瀬川は仙台に住む人々の生活を支え、都市の発展に大きく貢献してきた市民共有の財産である。この広瀬川の美しい景観や自然環境を次世代に引き継いでいくためには、広瀬川の魅力を市民一人ひとりが再認識し、市民協働により新たな魅力の創出に取り組んでいくことが大切と考えている。今後ともご協力をお願い申し上げます。

本日の議事は、20年目の節目を迎えている「広瀬川創生プランの改定について」、「令和6年度重点事業の認定及び取組事業について」、「広瀬川魅力創生サポーターについて」の3つを予定しており、委員の皆様には、取り組みを更に進めていくための忌憚のないご意見、ご提言をお願いしたい。

3. 会長選出

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

引き続き、本協議会をまとめていただく会長の選出をお願いしたい。広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱第5条第1項に基づき、会長は委員の中から互選により決めることとなっている。どなたか推薦等はあるか。

○佐々木委員

前会長であり、経験と実績が豊富な、小祝委員に引き続きの会長をお願いしたい。

=一同異議なし=

=小祝委員了承=

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

それでは、会長を小祝委員をお願いする。続いて、同じく要綱の第5条第3項に基づき、会長代理となる委員を小祝会長に指名いただきたい。

○小祝会長

前会長代理である小田委員を、引き続き会長代理に指名する。

=小田委員了承=

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

それでは、会長代理を小田委員をお願いする。小祝会長、小田会長代理より挨拶をお願いしたい。

○小祝会長

第9期に引き続き、会長を務める小祝である。本日の議題にもあるとおり、今年度は広瀬川創生プランの改定という大きな節目を迎えており、建設局長の挨拶でも触れられていたが、広瀬川は市民共有の財産であり、広瀬川を次の100年に向かってどうやって残していくかということを協議会で話し合うことを想像すると楽しくなってくる。また、それがSDGsの目標の1つである「世代間の公正」につながってゆくのではないかと思うし、ぜひそのような広瀬川を残していきたいと考えているので、委員の皆様にはご協力をお願いしたい。

○小田会長代理

会長代理を務める小田である。一昨年、東京大学に異動するまで宮城教育大学に10年勤務していた。元々専門は地理学で、例えば、東北地方整備局と一緒に河川の災害・防災などについての教材を作成するなどの仕事をしてきた。その後、令和4年度から高等学校において「地理総合」が必修科目となり、防災に加えて、「エジプトはナイルの賜物」という言葉のように、河川が地域を作り上げるための豊かさの源でもあるという教育を進めていく仕事もさせていただいている。先ほどの委員紹介にもあったが、私は日本河川教育学会でも活動しており、全国の河川に関わる団体や学校における河川の教育にも取り組んでいるため、委員の皆様へいづれ共有させていただければと思う。現在東京にいるが、月2回ぐらいは仙台に来ており、ビジターとしての視点を共有し、小祝会長を支えながら、委員の皆様との協力も得つつ取り組んでいきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

4. 議事

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

本日、出席委員が全委員の過半数に達しているため、会議が成立していることを報告する。
以降の議事の進行は、要綱第6条に基づき小祝会長にお願いする。

○小祝会長

まず、会議の公開または非公開について確認したい。非公開となる事案がないので、今回の協議会は公開としてよろしいか。

＝一同了承＝

○小祝会長

次に議事署名は五十音順で一井委員にお願いしたいが、よろしいか。

＝一同了承＝

＝一井委員了承＝

○小祝会長

それではこれから議事に入る前に、今回の協議会は令和6年4月に委員の改選を行ってから最初の開催となるため、あらためて協議会の所掌事務や役割などについて、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

事務局から協議会の所掌事務や役割について説明

○小祝会長

それでは引き続き、次第に沿って進めさせていただく。議事（１）「広瀬川創生プランの改定について」、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

資料１に沿って説明

○小祝会長

議事（１）「広瀬川創生プランの改定について」、事務局からの説明のとおり、今年度は広瀬川創生プランの改定年度となっており、その準備として、資料１の８ページに示すとおり、プラン改定の議論を重ねるためにワーキンググループを設置すること、ワーキンググループのメンバーについては委員の中から選出して協議会内で決定すること、メンバーの人数は前回改定時を参考に会長と会長代理を含む５名とすること、について事務局より提案がなされたが、何か意見のある委員はいるか。

無いようであれば、ワーキンググループの設置を含む事務局からの提案３点について、これでご承認いただいたということにする。

続いて、会長と会長代理以外のワーキンググループのメンバーについては、協議会会長と事務局との間で協議した結果、男女の割合にも配慮しつつ、次の３名の委員をメンバーとして推薦する。１人目は広瀬川インスタグラムに記事を寄稿して活動団体の情報発信を積極的に行っている佐藤委員、２人目はNPO法人のスタッフとして広瀬川における様々なイベントの企画・運営などで経験豊富な豊嶋委員、３人目はこれまでに大学のコーディネーターとして自治体による地域課題解決のためのプロジェクトの企画・実施に関わった経験のある中嶋委員である。

以上の３名と会長・会長代理を含む計５名をワーキンググループのメンバーとして選出することを協議会会長と事務局より提案するが、本提案について何か意見はあるか。

○谷田貝委員

ワーキンググループで検討された内容を協議会の中で議論せず、承認するという形で進むと考えてよろしいか。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

ワーキンググループでの検討を重ね新プランの中間案づくりを進め、11月に開催予定の第47回協議会において中間案を提示させていただく。その協議会の場で委員の皆様からご意見をいただき、必要に応じ、その結果を反映させるという形で進めさせていただきたい。

○小祝会長

他に何か意見はあるか。

無いようであれば、ワーキンググループのメンバーについては、これでご承認いただいたということにする。

また、ワーキンググループに関する内容以外で、他に何か意見はあるか。

○豊嶋委員

かなりタイトなスケジュールの中で形だけのワーキンググループとなってしまうことが無いようにしていきたい。進め方も少し工夫が必要と思っており、ゲストを招いて先行事例を勉強するなどの提案もさせていただきたいと考えている。市民意識調査の結果が、プラン改定には重要だと思うので、方法も含め、精査した上で実施させていただきたい。前回調査との比較という意味では同じ方法を続ける意味もあるかと思われるが、グループインタビューやヒアリングという方法もあると考える。

○小祝会長

次回開催するワーキンググループの中でご提案いただき、建設的に進めていきたいと考えている。

他に何か意見はあるか。

○谷田貝委員

広瀬川市民会議がネットワークや連携の役割を担うという説明があったが、現状、その点がだいたい厳しくなっていると感じる。私はNPO法人の事務局長を務めており市民活動や連携に大変関心があるが、広瀬川で活動する団体のネットワークづくりについてワーキンググループでぜひ議論をお願いしたい。

○小祝会長

他に何か意見はあるか。

無いようであれば、「広瀬川創生プランの改定について」は、これでご承認いただいたということにする。

引き続き、次第に沿って進めさせていただく。議事(2)「令和6年度重点事業の認定及び取組事業について」、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局（広瀬川創生係 伏見主任）

資料 2 に沿って説明

○小祝会長

それでは、ただ今説明のありました「広瀬川の水上市場・ウィーク事業」と「もりの庭園 雨庭づくり」の2つに関わられている豊嶋委員にお話を伺いたい。

○豊嶋委員

まず、「広瀬川の水上市場・ウィーク事業」について、特定非営利活動法人都市デザインワークスでは、広瀬川と地下鉄東西線が交わる周辺一帯をせんだいセントラルパークと呼び、広瀬川、公園、大学のキャンパス、民間の敷地内の豊かなガーデン・花畑といった場所をひと繋ぎと考えて、その魅力を高めるような取組みを行っている。京都の鴨川には飛び石があり、そこを地元の方や観光客が行き来するという話から、それを広瀬川でもやりたいと思い本取組みを行うこととした。行政のみでは中々実現が難しいと伺っていたため、今回は市民が取組みを実施できないかということで、東北地方整備局の「水辺・絆プロジェクト 2024」という助成制度を活用させていただき、現在、実現に向けて宮城県仙台土木事務所と最後の詰めをしているところである。実施期間中、隣の青葉山公園で宮城県がイベントを開催予定で、そのイベントを訪れた方にこの広瀬川のイベントにも立ち寄っていただこうという狙いもある。

次に、「もりの庭園 雨庭づくり」については、去年3月に開催された第44回協議会において、仙台河川国道事務所の取組みとして紹介された広瀬川環境導水の話をお伺いした際、これはグリーンインフラの取組みだと感じ、既存のインフラを生かして自然環境を豊かにしていく、自然再生をしていくというようなことができないかと市民団体と話をしていた。ちょうど、私が勤務している仙臺緑彩館には、建物に降った雨を溜める「もりの庭園」があり、そこは雨水がゆっくり蒸発する大きな雨庭で、河川氾濫の予防にもなると考えられている。この雨庭だけではそこまでの規模には至らないが、ひとつのモデルとして、その重要性をPRする活動を行っている。市民の皆さんには石にとっても興味をもっていただいております、石の歴史の話をお聞いたり、小さいお子さんが石をただ積んでみたりと、川の流れを作り出す石をとおして広瀬川に対する関心にもつながるのではと考えている。今後とも自然再生の取組みの1つとして継続していきたいと考えている。

○小祝会長

「広瀬川の水上市場・ウィーク事業」が成功し、今回の橋が未来につながる橋となることを期待している。

他に何か意見はあるか。

○笹村委員

取組事業の決め方とそこからどのような手続きで重点事業が決められているか、そのプロセスをご教示いただきたい。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

まず、取組事業については例年、各団体へ当年度の実績と次年度の予定を確認し、その結果をもって取組事業一覧表を作成している。続いて、重点事業については、資料2の3ページ目の4つの基本的な考え方に当てはまるものを取組事業の中から選定し、協議会の中で重点事業として決定していただくという流れとなる。

○小祝会長

他に何か意見はあるか。

○谷田貝委員

先ほどの笹村委員の質問に対する追加の意見として、複数の事業を挙げていただいて、その中から協議会で重点事業とする事業を決定するという流れを検討しても良いと思う。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

取組事業の中には、1つの団体が単独で実施している事業も多く、重点事業に提案できる取組みが減ってきている。活動団体同士の連携を進めることで、重点事業となる取組みが増えていくと考えられるため、今後検討していきたい。

○谷田貝委員

重点事業認定制度についても活動団体の中には知らない団体もいると思われるため、その点も検討が必要である。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

プランの内容を分かりやすく、活動団体に周知することで、新たな取組みが生まれてくるような働きかけを今後行っていく。

○小祝会長

お2人の委員からのご意見について、今後ワーキンググループの中で検討していきたい。

他に何か意見はあるか。

○佐藤委員

重点事業に求めるものが、多くの市民に参加して欲しい取組みなのか、実験的に実施する取組みなのか、何を求めているのかが分かりにくくなっている。多くの取組事業の中から重点事業を選び、仙台市も関わって実施するのであれば、関係する団体、規模、そして広報の方法などが分かるような説明が必要である。

○小祝会長

ただ今のご意見を事務局でも把握して、ワーキンググループの議論に反映させていただければと思う。

他に何か意見はあるか。

無いようであれば、「令和6年度重点事業の認定及び取組事業について」は、これで承認いただいたということにする。

引き続き、次第に沿って進めさせていただく。議事(3)「広瀬川魅力創生サポーターについて」、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局（広瀬川創生係 伏見主任）

資料3に沿って説明

○小祝会長

ただいまの事務局からの説明について何か意見のある委員はいるか。

無いようであれば、「広瀬川魅力創生サポーターについて」は、これで承認いただいたということにする。

以上、議事についてはここまでとする。

5. その他

○小祝会長

本日の議事は以上となるが、その他に、委員から意見や質問などはあるか。

○多田委員

広瀬川上流の森のライトアップについて、長い間光に当たることによって植物への悪影響が考えられると思っている。山を見ると、ライトアップの影響かどうかは分からないが、一部樹木が枯れている場所が見られ、大雨時の土砂崩れなどが懸念される。水を守るという意味で、森の重要性は非常に高いと考えられるほか、広瀬川上流には美しい森の景観が広がっているため、それを守るといった観点からも、広瀬川創生プランの取組みとは少し違うかもしれないが、仙台市として配慮した方が良いのではとの提案をさせていただく。

○小祝会長

貴重なご意見、感謝する。川を守るためには、森が重要という大切なご意見と思う。事務局とも調整し、協議会の中で話し合う内容か、今後検討したい。

他に何か意見はあるか。

○谷田貝委員

一昨年、埼玉県だったと記憶しているが、市民活動と活動を支援したい企業同士のマッチングを行うような取組みを行っている話を聞いたことがあるが、広瀬川における市民活動を広瀬川魅力創生サポーターとなっている企業が支援する仕組みがあればと思った。

○事務局（広瀬川創生係 庄司主幹兼係長）

情報提供、感謝する。活動団体及びサポーター認定団体へ各々の情報を共有するなどして、少しでも新たな協力体制が生まれるような取組みも可能と考える。今後とも情報提供いただきながら、検討を進めていきたい。

○小祝会長

他に何か意見はあるか。

無いようであれば、「5.その他」については、これで終了する。

6.閉会

○小祝会長

これまでの委員からの意見・質問等について、事務局でまとめていただき議事録にて確認することとする。

本日の議事はこれで終了とし、進行を事務局にお返しする。

○司会（百年の杜推進課 水嶋課長）

議事の進行に感謝申し上げます。

以上で、「第46回広瀬川創生プラン策定推進協議会」の一切を終了する。

以 上

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和 年 月 日

議事録署名人

広瀬川創生プラン策定推進協議会 会長 _____ (印)

委員 _____ (印)